

# 浜口陽三展

HAMAGUCHI Yozo  
Exhibition  
COLOR TRIP

## カラー・トリップ



「赤い鉢」 1971年 カラー・リトグラフ 45.7×61.2cm

2017.8.26 sat.-10.22 sun.



Musée  
Hamaguchi  
Yozo:  
Yamasa  
Collection

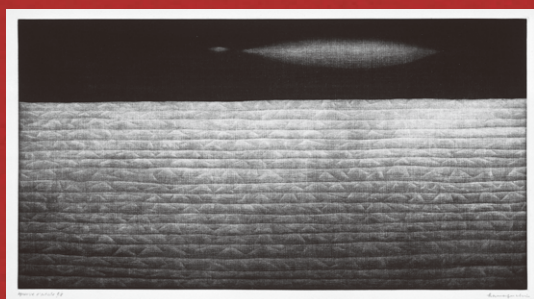
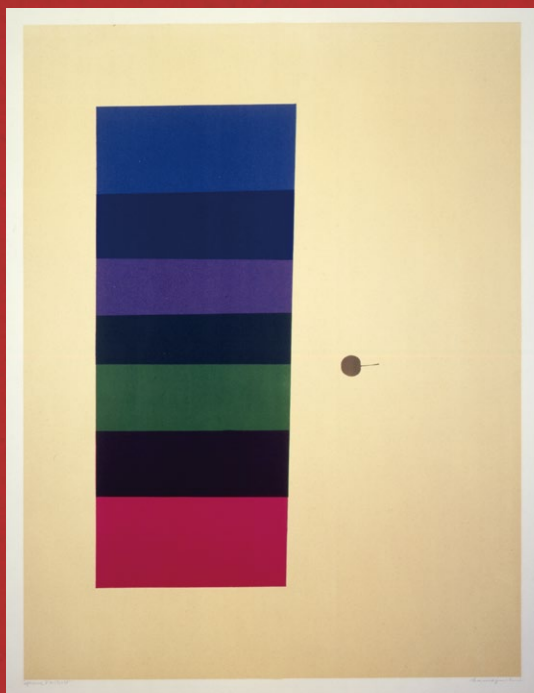
ミュージゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

休館日 ■ 月曜日(9/18、10/9は開館)、9/19(火)、10/10(火)

入館料 ■ 大人600円 大学・高校生400円 中学生以下無料

開館時間 ■ 11:00~17:00(土日祝10:00~/最終入館16:30)

©ナイトミュージアム…会期中第1・3金曜日(9/1、9/15、10/6、10/20)は20:00まで開館、最終入館19:30



上から順に  
「テーブル掛けとさくらんぼ」 1971年 カラーリトグラフ 60.5×46.0cm  
「雲」 1958年 メゾチント 26.3×49.2cm  
「ブラジルの太陽」 1971年 カラーリトグラフ 27.5×45.5cm  
「虹とエッフェル塔」(試作) 1972年 シルクスクリーン 50.3×50.3cm (個人蔵)

銅版画家・浜口陽三(1909-2000)は、西洋の印刷技術であったメゾチントを芸術表現に取り入れ、さらにモノクロであった技法に色彩を呼び起こしました。あざやかな赤いさくらんぼの奥の暗間によく目を凝らすと、幾重にも色が重なりあっていることに気づかされます。その暗色は、黄、赤、青、黒の四色の版の重なりでできあがっているのです。ピロードのようにも見える暗色のやわらかさや静謐な画面は、国際的に高く評価されました。

しかし浜口は、銅版画の技法だけにこだわらず、リトグラフでの制作も試めています。銅版画では表現できないフラットな色彩をリズムカルに配したその作品は、銅版画での作品と同じモチーフを描写していながら、異なった様相を見せます。浜口の好んでいたモチーフであるさくらんぼは、リトグラフの多彩な作品の中で、弾みながら歩んでゆくようです。

また、もうひとつの色の冒険として、浜口はシルクスクリーンにも挑戦しています。ポスターの原画として制作された、ただ1点のみの幻の試作品を、本展ではポスターと併せて紹介します。

この秋の展覧会は浜口のリトグラフ作品に焦点をあて、さらに主な制作である銅版画約40点を加えた多彩な構成です。さくらんぼを追いかけて、色の旅をどうぞお楽しみください。

## Event 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカード大の作品を完成させます。初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講師ー江本 創(アーティスト)

日時ー10月27日(金) ①10:30-13:30 ②15:00-18:00  
10月29日(日) ③10:30-13:30 ④15:00-18:00

定員ー各回12名

持ち物ー下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れてもよい服装またはエプロン

参加費ー入館料+1800円(材料費込)

申込ー9月20日(水)12:00より電話にて受付開始(先着順)

\*展覧会終了後の開催となりますが、作品はご覧いただけます。(展示作品は未定)

\*お申込後、開催直前でのキャンセルはご遠慮ください。

## ミューゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel | 03-3665-0251 Fax | 03-3665-0257

Mail | musee@yamasa.com HP | <https://www.yamasa.com/musee/>

アクセス | 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎I.C[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前



当館はぐるっとパスに参加しています。